

岡崎ホスピスケアを考える会通信

平成 14 年 3 月

14 号

事務局：橋詰 0564-53-3100 小野 0564-24-8518 URL <http://www.sun-inet.or.jp/~nanba/>

2月の例会報告

テーマ 「終末期の在宅ケア」＜環境・設備・介護用品について＞

井藤聡子社会福祉士・松崎百合子訪問看護婦

感想文から

本日の終末期の在宅ケア、環境設備介護用品用具についての紹介で、すべてが安心ということにはいかないけれども、誰に聞けばよいか、又ヒントとして取り入れ、積極的に個々のケースを考えていけたらと思いました。

電動歯ブラシの存在を知りませんでした。これを知っていれば看る人、看られる人がどんなに助かったか。市販の介護用品が必要なとき、便利なこともありますが、普通の日常生活の知恵をいかに活用すればよいか、ある程度のことはそれでまかなえるものですね。

在宅ケアについてもう一度勉強会をお願いしたいです。

父母の終末に精神的にも物理的にも何も知識がなくかわいそうな最期でした。今後は情報を得て自分も含めて多くの人に役立てたいです。

◆報 告

- 3月2日（土）午前 安城更生病院緩和ケア病棟の見学に参加者 15 人ほどで行ってきました。
3月2日（土）午後 愛知病院で男川小学校の子供たちと一緒に今年も歌のプレゼントをしました。

◆ご 案 内

例 会

- 4月19日（金） 10時～14時 カトリック岡崎教会（明大寺町）
「死を受け入れてどう生きるか」 二村・エッケルト敬子さん
お弁当をご用意ください。
5月11日（土） 14時～16時 勤労福祉会館
「終末期の在宅ケアに関わって」小出クリニック院長小出先生

手縫いの会（毎月第2火曜日）

- 4月9日（火） 10時～12時 県立愛知病院看護相談室
5月14日（火） 10時～12時 県立愛知病院看護相談室

- つ ど い（毎月第4水曜日）参加ご希望の方は 橋詰：0564-53-3100 小野：0564-24-8518 まで
4月24日（水） 12時半～15時 場所 覚照寺
5月22日（水） 12時半～15時 場所 覚照寺

手縫いの会報告

今年度を振り返って

毎月1回、愛知病院で行われている「手縫いの会」は10人前後の方の出席があり、手縫いの雑巾は100枚を越す日も多くあり、本当にありがたく思っています。一方、小物の方は、ミシン、アイロンなどの道具を必要とするため、各自家で行っていますが、集めるのに時間がかかり、お届けがなかなかできません。みんなが集まって効率よく作業ができるといいなあと思っています。

「手縫いの会」連絡先：服部0564-23-1263：勝川0564-25-6961

- | | | | | |
|----|-----|-------|-----|--------|
| 1月 | 8日 | ：雑巾 | 67枚 | → 愛知病院 |
| 2月 | 12日 | ：雑巾 | 50枚 | → 愛知病院 |
| 2月 | 12日 | ：雑巾 | 45枚 | → 市民病院 |
| 2月 | 12日 | ：綿入り紐 | 19本 | → 市民病院 |

以上お届け
しました。



今年度を振り返って

「私のたまたま箱」が完成しました。＜私のカルテ作り＞では愛知病院・市民病院・消防署・臓器移植コーディネーター・ホスピス・＜終末期の在宅ケア＞では在宅ケアに関わる事業所・開業医・歯科医・市役所＜遺言書の書き方＞では弁護士などこれまで協力していただいた方たちは70名にも及びました。「結果より目に見えない過程を大切にしたい」と思い、お一人お一人に運営委員がお目にかかってお話しを伺ってまいりました。たまたま箱には結果しか掲載されていませんが、これを実際に使うとき、必ず今まで培ってきた人たちの温かさが伝わってくると確信しています。
(橋詰)

＜運営委員から一言＞

- ◆今までの自分が、医療に対して勉強不足であった事を、痛感しました。しかし、この機会を得て、自分自身を改めて見つめなおす事が出来ました。(市川)
- ◆私がこの会で学び気づいたことは、死は公平で誰でも避けられない自然なものであること、死を恐れる前によく知ることが大切であり深く死について想うことにつとめてみる。私が死を迎える時に振り返った人生は慈しみに満ちて輝いていてほしいと願い、「生きていることの喜び」に感謝し、生きて行きたい。(稲垣)
- ◆雑巾を縫いながら「やっぱり自分の家で死にたいわね」と言ってから4年。
「私のたまたま箱」に＜終末期の在宅ケア＞の資料はとりあえず入れた。しかし、これで安心だろうか。子供たちや周囲の人が「いいわよ、最後まで家にいてね」と言ってくれるよう、これからが勝負！(小野)
- ◆毎月の手縫いの会、勉強会を通して、心温かな皆様との交流を大切にしたいと思います。(勝川)
- ◆今年も皆様と共に楽しくいろいろな勉強会に参加できたことをとても嬉しく思います。
“おもてなしの心”をたくさん学ばせて頂きました。(清水)
- ◆会員の皆様と共に学び、感動を分かち合った1年が“たまたま箱”に納まりました。ご協力ありがとうございました。今日を私たちの卒業式にしませんか。桜の花びらを美酒に浮かせて乾杯！4月には1つ進級してお目にかかりましょうね。(富田)
- ◆知らないよりも知っている事が大切な事を、たくさん体験しました。まず座って聞くだけでも勉強です。(成田)
- ◆忙しい1年でした。毎日をきちんと受け止めていないと流されてしまいそうでした。でも「私のたまたま箱」が完成し、姉が活用しているのをみて疲れが吹き飛びました。こんな機会をもらえて皆様に感謝しています。(難波)
- ◆同じ目標に向かって進みながらも、さまざまな意見を素直に言い合える、そんな仲間に出会えて幸せです。(服部)
- ◆血の通った手作りの小さな会。中身は“山椒は小粒でもピリリと辛い！”この会が細く長くしっかりと続くことを願って。(堀)
- ◆“おもてなしの心”でと思ってきましたが、みなさんに助けていただき楽しく勉強ができました。(米内)
- ◆「ご主人が亡くなられてお寂しいですね」と言って下さるけれど、実は「寂しくない」と言うYさん。他人に「いつも主人の気配を感じて生きているから」とは言えないから「はい、寂しいです。」と言うそうです。でも「この会の中では本音が話せる、話しても頭がおかしくなったとは思われない、それが嬉しい。」と言われました。今年は会員だけで静かに深く分かち合いたいと思います。
(橋詰)



事務連絡：今年度からは電話連絡を少なくしますので、通信を注意して読んでください。

通信発行予定日は、5月15号・7月16号・10月17号・1月18号・3月19号です。

編集後記：

- ・運営委員12名の内、稲垣・市川・清水・富田の4名が一般会員に戻ります。やったこと、やめること、全て良かったと思っていただけたら嬉しいと心から思っています。ありがとうございました。
- ・今回は年度末ということで、運営委員の声を載せました。来年度からの運営委員が足りません。どなたかお手伝いをお願いします。また、こんな記事を載せて欲しいなど、意見がありましたらこちらもお寄せください。(編集委員)